

慶應義塾大学医学部が行う「川崎市における高齢者の健康と暮らし方に関する学術調査」にご参加いただいた方へ、頭部 MRI 画像解析方法、レジリエンス解析方法、GWAS 統計量公開、自己抗体解析、海外 scRNAseq、および共同研究機関の追加に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 百寿総合研究センター 職名 教授
氏名 新井 康通

実務責任者 所属 百寿総合研究センター 職名 講師
氏名 色本 涼
連絡先電話番号 0352692468

このたび当院では、「川崎市における高齢者の健康と暮らし方に関する学術調査」の研究にご参加された皆様へ、1)医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、頭部 MRI の解析方法とそのため共同研究機関の追加、2)レジリエンス (resilience:回復力)とは困難な環境にもかかわらずうまく適応する過程・能力・結果と定義される幅広い概念で、高齢者での健康維持に関連する機能として身体的及び精神的レジリエンスが注目されており、レジリエンス研究のために日本国の共同研究機関の追加3)高齢者集団の表現型と遺伝多型と相関解析を genome wide association study (GWAS)法を用いて行った GWAS 統計量を長寿研究の発展のために公共データベースに公開、4)タンパク質マイクロアレイによる自己抗体解析 5) 1 細胞 RNA 発現解析及びゲノム解析を含む高度なオミクス解析、をさせていただきます。

倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、研究参加者の皆様への新たな負担は一切ありません。また研究参加者の皆様のプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない方は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

1) 頭部 MRI 解析: 西暦 2021 年より 2023 年までの間に、慶應義塾大学医学部百寿総合研究センターが行った「川崎市における高齢者の健康と暮らし方に関する学術調査」にご参加をいただいた方のうち、頭部 MRI 検査を受けられた方。

- 2) レジリエンス解析: 西暦 2017 年より 2023 年までの間に、慶應義塾大学医学部百寿総合研究センターが行った「川崎市における高齢者の健康と暮らし方に関する学術調査」にご参加をいただいた方。
- 3) GWAS 統計量公開: 西暦 2017 年より 2023 年までの間に、慶應義塾大学医学部百寿総合研究センターが行った「川崎市における高齢者の健康と暮らし方に関する学術調査」にご参加をいただき、遺伝子解析に同意いただいた方。
- 4) 自己抗体解析: 西暦 2017 年より 2023 年までの間に、慶應義塾大学医学部百寿総合研究センターが行った「川崎市における高齢者の健康と暮らし方に関する学術調査」にご参加をいただき、血液(血漿)サンプルをご提供いただいた方。
- 5) 高度なオミクス解析: 西暦 2017 年より 2023 年までの間に、慶應義塾大学医学部百寿総合研究センターが行った「川崎市における高齢者の健康と暮らし方に関する学術調査」にご参加をいただき、血液サンプルをご提供いただき、遺伝子解析に同意いただいた方。

2 研究課題名

承認番号 20160297

研究課題名 【川崎市における高齢者の健康と暮らし方に関する学術調査】

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター

情報の提供機関・提供者(責任者)

一般財団法人脳神経疾患研究所附属南東北創薬・サイクロトロン研究センター・松田博史(所長)

社会医療法人友愛会・仁井田明(医師)

慶應義塾大学・医学部・生理学教室 岡野 栄之(教授)

慶應義塾大学・医学部・微生物学・免疫学教室 本田 賢也(教授)

理化学研究所生命医科学研究センター ヒト免疫遺伝研究チーム 石垣 和慶(チームリーダー)

理化学研究所脳神経科学研究センター 認知症病態連携研究ユニット 笹栗弘貴(ユニットリーダー)

九州大学生体防御医学研究所 附属高深度オミクスサイエンスセンター 増田 隆博(教授)

国立大学法人京都大学大学院医学研究科 大学院医学研究科消化器内科学講座 塩川 雅広(助教)

理化学研究所生命医科学研究センター システム遺伝学チーム 岡田随象(チームリーダー)

4 本研究の意義、目的、方法

- 1) 頭部 MRI 解析: 頭部 MRI 画像は、出血や梗塞、萎縮を検出するだけでなく様々な解析方法によって、脳の構造学的特徴、機能的特徴を評価することが可能です。VSRAD (Voxel-based Specific Regional analysis system for Alzheimer's Disease) は、早期アルツハイマー型認知症診断支援システムと言われ、脳の萎縮を数値で表すことで、アルツハイマー型認知症などの診断の客観的な指標となる検査システムです。本研究で撮影された頭部 MRI 画像は、90 歳以

上の健常高齢者の方のデータベースとして VSRAD の解析・照合に用いられます。これにより、90 歳以上の方の脳萎縮をより同年代の正常標準値との比較に基づいて評価することが可能となります。また、拡散テンソル画像解析を追加することで、脳の神経線維の走行を評価することができ、認知機能障害を持つ方や精神疾患を持つ方の脳の局所構造間を連結する神経線維の異常を検知することが可能となります。これらの解析には、特殊な解析ソフトや解析システムが必要とされるため、慶應義塾大学医学部では、VSRAD の開発に携わられた一般財団法人脳神経疾患研究所附属南東北創薬・サイクロトロン研究センターの松田博史先生、および、わが国における拡散テンソル画像解析の第一人者である社会医療法人友愛会の仁井田明先生を共同研究者に加え、頭部 MRI 画像解析を行い、脳画像指標と認知機能や精神症状、フレイルなどの健康指標との関係を検証する研究に取り組むこととなりました。

2) レジリエンス解析：レジリエンス (resilience: 回復力) とは困難な環境にもかかわらずうまく適応する過程・能力・結果と定義される幅広い概念で、高齢者での健康維持に関連する機能として身体的及び精神的レジリエンスが注目されています。慶應義塾大学医学部百寿総合研究センターは、理化学研究所、九州大学と共同して米国非営利公益法人 Wellcome Leap (WL) の Dynamic Resilience プログラムからの助成研究を受け、日本国内の研究チームとレジリエンス関連バイオマーカー・遺伝子探索を行う研究に取り組むこととなりました。

3) GWAS 統計量公開：高齢者集団の表現型と遺伝多型と相関解析を genome wide association study (GWAS) 法を用いて行った結果、飲酒に関わる遺伝多型や認知機能に関わる遺伝多型候補などを同定することができました。これらの情報は、長寿研究の発展のために NDBC データベースなどの公共データベースから公開させていただきます。GWAS 統計量には解析対象集団の全体の解析値しか含まないため個人を同定できる情報は含まれていません。

4) 自己抗体解析：令和 6 年 4 月の国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 革新的医療技術研究開発推進事業 (産学官共同型, 代表京都大学 塩川雅広) の採択を受け、健康な高齢者 (本研究参加者)、百寿者の血漿中の自己抗体をタンパク質マイクロアレイにより網羅的に測定し、様々な疾患患者、若年健常者と比較することにより、健康長寿に関する自己抗体群を同定します。

5) 高度なオミクス解析：すでに解析を行っているゲノム解析に加え、1 細胞 RNA 発現解析などのオミクスデータを新たに解析・統合し、高度なオミクス解析を行います。1 細胞 RNA 発現解析用のサンプルは慶應義塾大及び理化学研究所で行い、サンプルを混合後、シンガポール大で解読を行います。このデータ解析には高度な知識・解析が要求されるために、理化学研究所、東京大学、大阪大学、シンガポール大学などの様々な研究機関と共同研究としてデータ共有、解析を行うこととなりました。

5 協力をお願いする内容

1) 頭部 MRI 解析：この研究では、皆様がすでに撮影された MRI データの解析のみを行いますので、今回改めて皆様にご協力をお願いすることはありません。皆様からいただいた頭部 MRI データを一般財団法人脳神経疾患研究所附属南東北創薬・サイクロトロン研究センター、社会医療法人友愛会へ提供し、VSRAD 解析に必要な健常データベース作成、拡散テンソル画像解析を行います。その結果を認知機能などの高齢者の健康指標との関連性を検証します。MRI 解析を行う

際には、氏名、生年月日、住所、電話番号などはすべて削除し、番号管理（匿名化と言います）した上で行います。

- 2) レジリエンス解析：この研究では、皆様からすでに収集したデータ及び遺伝子解析結果を用いた解析のみを行いますので、今回改めて皆様にご協力をお願いすることはありません。収集したデータを理化学研究所及び九州大学と共有し、レジリエンスに関する検査結果を抽出し指標との関連性を検証します。データ共有の際には、氏名、生年月日、住所、電話番号などはすべて削除し、番号管理（匿名化と言います）した上で行います。
- 3) GWAS 統計量公開：この研究では、皆様からすでに収集したデータ及び遺伝子解析結果を用いた解析のみを行いますので、今回改めて皆様にご協力をお願いすることはありません。収集したデータを解析後、統計量として集計し、長寿研究の発展のために NDBC データベースなどの公共データベースから公開させていただきます。GWAS 統計量には個人を同定できる情報は含まれていません。
- 4) 自己抗体解析：この研究では、皆様からすでにご提供いただいた血液（血漿）の一部を京都大学塩川雅広を研究代表者とする共同研究コンソーシアムに提供し、タンパク質マイクロアレイによる自己抗体解析を行います。今回改めて皆様にご協力をお願いすることはありません。
- 5) 高度なオミクス解析：この研究では、皆様からすでにご提供いただいた血液を用いて、1 細胞 RNA 発現解析を行い、すでに解析済みのゲノム解析などのオミクスデータを解析・統合し、高度なオミクス解析を行います。今回改めて皆様にご協力をお願いすることはありません。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

本研究にご参加いただいた方の氏名、生年月日、住所、電話番号などは一切取り扱いません。本研究で取り扱う頭部 MRI 情報は、氏名、生年月日、住所、電話番号などはすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。対象者の方の氏名、生年月日、住所、電話番号などと、頭部 MRI 解析情報を結びつける情報（連結情報）及び解析データ（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。サンプル、個人情報、個人関連情報及び個人識別符号は WL Dynamic Resilience プログラムに参加する国外のグループ、自己抗体解析グループ、高度なオミクス解析とは共有しません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、頭部 MRI 画像データの一般財団法人脳神経疾患研究所附属南東北創薬・サイクロトロン研究センター、社会医療法人友愛会への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、頭部 MRI 画像データの一般財団法人脳神経疾患研究所附属南東北創薬・サイクロトロン研究センター、社会医療法人友愛会への提供はいたしません。

またすでに提供している場合は、提供先である一般財団法人脳神経疾患研究所附属南東北創薬・サイクロトロン研究センター、社会医療法人友愛会において、頭部 MRI 画像データから、特定の個人を識別することができないようにするための適切な措置を講じた上で廃棄し、その旨をご本人または代諾者の方等に文書により通知いたします。また、本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、理化学研究所、東京大学、大阪大学、シンガポール大学及び九州大学への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、データの提供はいたしません。またすでに提供している場合は、提供先で適切な措置を講じた上で廃棄し、その旨をご本人または代諾者の方等に文書により通知いたします。また、ご本人または代諾者の方等が廃棄以外の処置を希望する場合にもご要望に可能な限り応えられるよう対応いたします。その場合も下記へお電話、ファックス、Eメールにてご連絡をお願いいたします。

東京都新宿区信濃町 35 慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター 色本涼
03-5269-2468 (直通電話およびファックス)

* お電話は月曜 - 金曜の午前 10 時から午後 5 時をお願いいたします。